



## 長崎出島支部・長崎浦上支部合同「慶祝例会」報告

開催日：2017年6月20日

文責 出島支部例会委員長 大崎悠史

慶祝例会冒頭の例年恒例の慶祝者紹介ビデオの制作は、上原会員が製作されておられます。今回、その上原会員が慶祝者本人となるために、依頼できない事態となりました。その慶祝者紹介ビデオの制作を私が引き受けることになりました。

本業の一つである健康食品販売の為にビデオの編集などをやっていた経験があるので楽勝だと気軽に応じてしまいました。

しかし、しかし、この安請け合いました内容がとんでもない事だと痛感しました。

まず、上原会員の会社に今回は私が製作する旨の報告と前年の制作過程をお伺いに行きました。

外まわりで忙しい時間をぬって約半日も付き合ってくださいレクチャーしていただきました。

1枚1枚の写真の加工（明るさやトリミング）や並べる順番などは、動画の編集とは桁違いの作業でした。

慶祝対象者へ、ご挨拶の電話から始まり、可能な限り訪問して直にお話をお伺いさせていただき、大切な写真をお借りしたりしているうちに一人一人の会員様のドラマを感じさせていただきました。

ただ、相手様と自分の時間を調整することが非常に難しく、今回の慶祝対象者の皆様にはいろんな意味でご協力を頂き大変感謝しております。

慶祝の当日になり、金田会員と最終のナレーションの打ち合わせをしましたが、字幕の流れるスピードの配慮がたらずに、大変苦勞をかけてしまいました。

言い訳になるかもしれませんが、あと一ヶ月早く準備をしていれば、皆様にもっとゆっくりと準備ができたかと反省です。

実は、上原会員の昨年の資料を見ると私より一ヶ月早く準備していました。ここに経験の差が出ました。

さて、例会本番の内容に戻ります、慶祝者入場のマーチ・・・ボイスパーカッション素敵でした。若い女の子の歌声、一所懸命に歌ってくれました。ベリーダンス一番前の席で見ました。やはり圧巻だったのはセーラー服の熟女ダンス。このダンスは毎年みたいものです。事務局に教えていただきましたが過去に米寿を受けられた会員様がおられます。今回、喜寿を迎えられた皆様、是非米寿、いや白寿をめざしていただきたいと思います。

今回、慶祝者紹介ビデオの苦労話を書いたのは、私の事を聞いて欲しいのではなく、毎回上原会員がコツコツと作っていた当たり前の動画を自分で製作して改めて上原会員に感謝の気持ちです。

また、今回の動画を家族にも見せたいと喜んでくださった会員様感謝です。

浦上、出島両支部交流は年に数回しかありませんが、気持ちのいい時間でした。

参加された皆様に、感謝です。